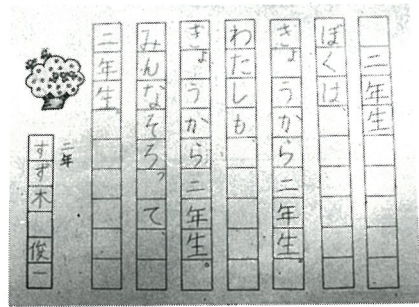
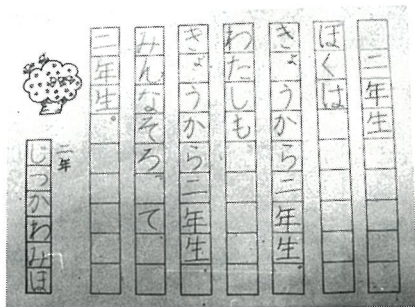


今月の児童生徒の作品コーナーでは、白浜小学校児童の作品のご紹介をします。五年生の作文はテーマ「五年生になって」です。



すずき ゆんいち くん



じつかわ みほ さん



実川 純子 さん

いろんなものにちょうせん

あつというまに五年生、高学年の仲間

入り。みんなそれぞれが進級し、新しくピカピカのランドセルをしょって一年生も入学します。

私は、新しく来た石田先生に教わることになりました。初めて見た感じは、女らしい先生でしたが、そうでないことがすぐにわかりました。すぐに着がえ、アイムカバーをつけて、そうじを始めてしまいました。ちょっとこわくて、おもしろい先生です。

私は、石田先生に教わりながら、五年生として次の点で努力していきたいと思っています。

○報道委員会で、楽しい放送を学校

のみんなに聞いてもらう。

○家庭科クラブでは、くふうして、いろいろな物を作る。

○勉強がむずかしくなってきたから、今まで以上にがんばる。

また、いろいろな事にちょうせんしたいです。



椎名 伸行 くん

ぼくにもできるはず

六十三年四月五日。ぼくは、最高学年の仲間入りをしました。あつという間に五年生。学校をコントロールする一員です。勉強や運動も、むずかしくなり今までの数倍の量、学習しなければおいていかれてしまう。一日中つくえに向かい

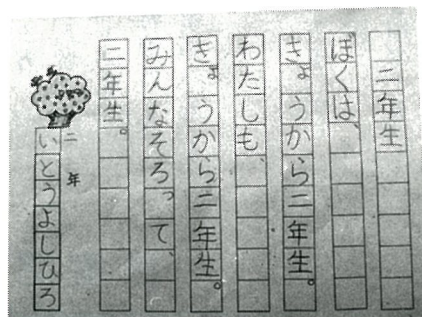
ばなしです。しかし、去年の五年生も、やりとげた事なんだから、ぼくにでもできるはずだ。がんばろう。

ぼくが、五年になって努力したい事は、三つあります。

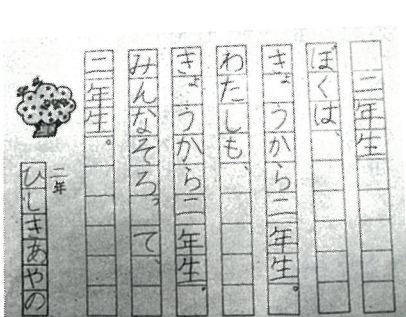
まず、「だれにでもすかれる五年生。」それに、「どんな事でも挑戦する五年生。」

終わりに、「ほかの小学校の五年生に負けない、五年生。」

この三つの目標をやりとげるには、努力しなければできないと思う。挑戦だ。



いとう よしひろ くん



ひしき あやの さん



ひかり歌壇

伊藤 定男

減反に農間はれつつ

今の世に重き荷となる農地守りて

青柳 フミ

七色に野を染む花に巡り会い

春の短きアテネに憩う

岩沢 芳江

何気なく言はずもがなの事

言ひて気拙さ残る今朝の食卓

鈴木恵美子

花々の萎えて散りゆく様哀れ

うつろいゆくかうたかたの春

椎名賀代子

縄跳びの孫等に交りて吾が跳べば

息切れはげしく限界を知る

椎名 静子

愛し子の遺骨を胸に項垂るる

父にマイクのつきつけらるる

土屋 好

泉湧く此の山峡の田に通い

はや四十年鍬打ちて老ゆ

越川 雪枝

吾が心現わに詠める過去の歌

なつかしみつつ読み返しおり